
告白 2

黎奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

告白 2

【Nコード】

N6891Y

【作者名】

黎奈

【あらすじ】

告白の続きとも言えるお話です。

まあ、目には目を、恋には恋をとというお話でもあります。

一緒に悩んでは見ませんか？恋への糸口になったり、現実の恋というものはこういうものなんだとか。そもそも恋ってなんなのかとか友人関係も多様な関係がありますし。まあ、そんな話です。

えーと、告白の続きです。

あ、でも、告白から進展はあんまりないです。

でもまあ、私自身にけっこう転機は訪れたんで、説明しまーす^

まず、拉致された後の学校では、すごいことに

噂というものは、二、三日で消え去りましたーおおすごい！

といっても私を憎んでるやつらや、

からかってくる男子達から消え去ることはありませんでした（涙）

三、四日でそれもすむと思ったら大違い。

けっこう告白して失恋してから日数が経ったのに

聞いてくる男子達っているんですよ、それが。

えーと、その日は津波の防災訓練する日でしたね、

同じ町でも、西区東区と別れて、私、西区の班長になったわけですよ、うんうん。

それは一緒に帰るお友達さんと

おんなじ地区別リーダーというものになりたかったわけになったのでいいのですが、

失恋する前に好きだったあの彼は、東区の班長なんですよ、うんうん^

防災訓練って集団下校するもんなのですが、
いかんせん、私、東区西区あわせても同学年で女子は悲しくも私一人。

班長同士お隣で待つときも待つものだから、きまずくて。

女子は他にいないししゃべるひとがいなくて余計にきまずい。

そんな中で私のほうを見て笑う輩が！！あ、これ、恋の相談した人なのよ。

そんなにやけないで欲しかったのね、あっちも、後のことだったか、後輩から告白されてるし。

笑われる気持ちだっってわかるだろう！？って気分。あ、これ悪口じゃないよ、うんうん。

ま、とにかく、失恋には新しい恋！！ということ、今、

短編の告白で「早く返事してやれよ」といったいじってくる男子のことが

笑えてしかたがないのですね。恋かどうかはまだ不明。

他にも、これは、塾の子ですが、他校の同級生がこれまたかっこよくて！！

今回の模試の結果で成績優秀者の中の国語で同じ点数でちょっと舞い上がったちゃいました！

前回の模試も理科が同じ点数で、表に載ってたし、しかも前後で！ハイテンションでしたよ、ええ！

で、話は元に戻すけど、

いつもいじってくる子とそりゃもうBL！？と勘違いしたくなるほど仲のよい男子が

私に聞いてきたんですよ

「なんでメールで**にあんなこと書いたの？
そりゃ、かいてもいいものだろうけど」
と。

「は？・・・も、もう、それ終わったことじゃん、やめてよそんな話」
この前にも同じこと聞かれたなーと思いながらも焦って
そう答えました。

そうはぐらかしたけど、
実は、勉強とか今後のためを思って書いてスッキリしようって書いたんだよね。

と心の中ではそう思っていました。

ほら、恋の悩みって受験勉強とかに支障を出すでしょう？
その解決法として告白したって感じです。まあ、メールだけ。
実際、好きだなんて言っていないし、彼からもごめんねとは言われて
ないんです！書かれたけど。

でも、やっぱり実はそんなに好きじゃなかったんだろうね、きっと。
今マジでドウデモイイ存在だし。
それよりも、いじってくるヤツが慌ててるのが面白いし、塾の子を
見てると癒される^

それに、体育でやってる剣道の簡単な試合形式で、嫌いな相手ぶち
のめすのが好きで楽しくて仕方ないんです^

「++、怖い・・・」「マジ怖い」「なに本気でやってんの？マジ怖い、キモイ」

とか言われちゃった、アハハ

これほめ言葉じゃね？私、殺気出してるもんハこれほめ言葉だよ！それに授業って本気でやるもんだし、そうでしょう？

本気でやらないバカは死ぬハ学校来るなハって感じでしたー！実際言わなかったけど。

ま、剣道以外にも次の百人一首でぶちのめしてやろう、

目標は一枚も相手に取らせない！！圧勝すべし！！という目標掲げてやるけどねハ

う～～ん楽しみ～～ハ

ま、それはともかくいじってくる子ね、今、ちょー慌ててるよ。

特に、私がメガネを変えるとき、

班の一部の男子達が、変な妙な気恥ずかしいばかげてる

「チエンジチエンジチエンジ、メガネ！」×3

「もう一回！」

「チエンジチエンジチエンジ、メガネ！」×3

というコールと、なんか、腕をぐるぐると渦を巻かせてもりあがってます。

だから、めがねをこっさり変えたりとかすると

「いつ変えた!?!」

とか聞かれ

「今さつき^」

と答えれば、

「チッ」

とか、言われます。

他にも彼しかいないときに、私常にかけてるメガネじゃ見えない状況で

「++、予定教える」

と聞かれたとき、

「は？何で。てゆうかちょっとまで、このメガネじゃ見えない・・・今変えるから」
と答えると

「え！？今！？やめろ、今変えるな！」

と慌てられ、思わずニヤリ。

「は？お前が予定教えるっていったじゃん。教えて欲しいんでしょ？
だったら変えるしか無いじゃん^」
って、メガネのケースを探し始めると・・・

「な！？ま、まてまて、ちよつ、今、変えるな！か、変えたら、これ返さないからな！」
っていつて予定帳奪われました。

「な、返してよ、それ！」

「++がメガネ、変えなきゃな^」

私が慌てれば、彼は不敵にでも焦っているようだけど笑ってました、

くそおう！

そこで私は考えました。

メガネをおそらく、班のヤツラが戻ってきたときに変えさせようと彼がしてるなら、

めがねを変えずにすむ方法が一つあった。

時間があれば、短時間で暗記は可能だー！

私は時間を確認して

「チツしゃーないな、予定覚えてくるから、後で返してよ」

って言つて、予定が書いてあるところへ近づきました。

近視だから近づいたら見えるもんねゝ私の勝ち！

そして短時間で覚え、自分の席に帰つてくると、

予定の一部を聞かれ、答えてやる。

そのときに、

「もういいでしょ、予定返せーっ」

「駄目だ、お前が忘れるまで返さない」

「はあ！？いいし、絶対覚えててやるゝ」

そんなやり取りをしているときに黙想いや、瞑想の音楽が。

それがおわると、班のヤツラも帰ってるので、

めがね変えろって当然のことながら聞かれましたー！。

「は？覚えてるのに変える必要ないじゃんゝ」

私が予定帳を返してもらって得意げに言つと、

「チツ」

と、彼等は悔しそうに舌打ちしました。

私の勝ちだー！ー！

あ、他にもメガネチエンジに勝ったことあつたっけ^

給食のとき、ナプキンを広げて、めがねを変えようとしたらそのとき、班ではいじってくるその男子だけで・・

「な、また変えようよと・・！ちよつとまで、変えるなー！！」

「いやだよおー^」

つてゆつくり変えようとしてました。そんなときの慌てようがこれまた楽しい。

私ってSなんだね、きつと^

で、彼が他のヤツラを何故か呼びに言ったので

急いで変えて、友達のところへ・・、クフフフフ^

ちようど、トモダチのところから彼等の会話してるところが見えてもう、大笑い！！

楽しかったな、あれは。

まあ、今はそんなこんなで、楽しんでます^

願わくば、塾の子と同じ志望校へいけるよう願ってます^

あ、そうそう、謎のメールの相手。

それは男子でしたー！ー！

・っえええええええ！？

って驚きましたようんっん。

しかもメガネチエンジコールをする男子の一人でしかも、班の班長です（私副班。席隣同士）

もう、メールの内容が女子らしく、しかも絵文字いっぱいゝあの人とは大違いでした。

受験間近のこの時期は面白い生活が送れそうです。

これからもこうやって書いていくので、ではまたの機会にゝ

最後まで読んでくれてありがとうございます

(後書き)

感想、評価、誤字脱字など、じゃんじゃん遠慮なく書いてください！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6891y/>

告白 2

2011年11月20日20時24分発行